

まほらいな市民大学の様子

令和7年11月27日（木）

『市政よもやま話』

講師 まほらいな市民大学 学長 白鳥 孝 伊那市長



まほらいな市民大学学長(伊那市長)白鳥 孝 氏による「市政よもやま話」と題しての講演がありました。

はじめは教育の原点となる「進徳館教育」の話題で、高遠藩校進徳館、伊澤修二と記念音楽祭、中村弥六、伊那市キャリアフェスの実践について話がありました。また、近年伊那市への移住者が多くなっていること。全国人気移住先ランキングで3年連続1位となつたこと。移住者が住みやすいまちづくり（モバイルクリニックや妊婦検診車輌いーなエル等）を目指しているという話がありました。次に伊那市への企業誘致、伊那市幹線道路網整備計画、戸草ダムの建設計画の話がありました。最後に「森といきる伊那市」のブランドスローガンについて、森や自然界の命の尊みから畏敬の念を持って学びなおし、人と人、人と自然がつながる地域社会を次世代につないでいくという話がありました。

学生からは「伊那市の歴史的背景から、進徳館で学んだ人たちが文化・教育の発展に尽力し、今につながっていることはすばらしい。伊那市で先進的な医療が行われていることを知りました。」「“進徳の森”を初めて知りました。“森といきる伊那市”とても良いと思います。」「全国的に人口減が悩みの種になっている。移住・定住施策に興味があります。伊那市はとても住みやすいところ。その良さを大切にしていってもらいたい。」といった感想がありました。